

すこやか

第201号
1月号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



新春のご挨拶



事業管理者・院長
荒川 創一

- 日本泌尿器科学会専門医・同指導医
- 日本感染症学会感染症専門医・同指導医
- 日本透析医学会専門医
- 日本性機能学会専門医
- 日本性感染症学会認定医
- 日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
- 日本化学療法学会抗菌薬臨床試験指導医
- ICD (Infection control doctor)

新春を寿ぎ、皆様のご家庭にとって安寧な一年でありますよう、祈念申し上げます。

市民病院の機能維持

三田市民病院は、常に住民の皆さんにとっての安心の拠り所でありたいと考えています。当院は、いわゆる「兵庫県北摂地域」北部に位置する急性期病院として、月間平均で約280件の救急車搬送の患者さんを受け入れております。心臓センターでは最新鋭の血管造影装置を有し、24時間365日心筋梗塞などへの救命治療を行っています。消化器がんの内視鏡センターでの診断及び治療、外科での手術、いろいろながんへの放射線治療・化学療法(抗がん剤)にも力を入れております。関節センターを中心に整形外科手術数も県下で有数であり、骨折等の外傷にも随時対応しています。昨年2月から導入した手術支援ロボット・ダヴィンチによる前立腺がん手術は着実に実績を重ねています。また、市内で唯一お産のできる病院として年間約360人の新生児が生まれています。

上述しましたのは、病院機能の一端でありまして、この他のさまざまな疾病や健康不安に対し、19の診療科が力をあわせて、今後も総合的に皆さんをサポートしてまいります。

地域医療の中核を担うために

昨年3月に三田市民病院改革プランを策定し、その過程で市民の皆さんにパブリックコメントをいただきました。そのことを通して多くの方々が、当院の急性期病院・総合病院としての機能維持を強く要望されていることが再認識できました。

地域医療の拠点としての役割を果たすため、かかりつけ医の先生方とも協働し、入院が必要な患者さんは、出来る限り随時のご紹介に応じて、すぐにご来院いただくというシステムを、昨年11月から強化しております。皆さんにおかれましては、かかりつけの先生とご相談いただき、当院への受診が適切と判断された場合、時間を問わず、遠慮なくお越しく下さい。もちろん、急に体調が悪くなられた場合には、消防にご連絡いただき、救急車受診という形もお考えください。

皆様のご期待に応えるべく、本年も職員一同、気持ちをひとつにして、安心・安全な医療の提供に邁進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

Topics

三田市民病院トピックス

OCT(光干渉断層計)について



眼科 部長
調 久光

■日本眼科学会専門医

OCT(光干渉断層計)は光を用いて、眼内の網膜や視神経などを断層像で撮影する検査機器です。最初の方式のOCTは1990年代に実用化され、その後2000年以降になり現在多く使われている方式の機器が市販化されました。

OCTの特徴

撮影は顔を台に乗せて、機器の中の指標を見ることにより行われます(図1)。撮影に要する時間は5分から10分程度で、造影剤などの使用もなく、眼底カメラに比べて、目に対する負担が少なくなっています。

OCTでは網膜や視神経の断層像(図2)から厚さや大きさなどの測定も行われます。

さまざまな疾患が対象

緑内障は視神経の障害によって視野が狭くなる病気です。進行とともに網膜の神経繊維が減少していきませんが、OCTでは画像や数値で客観的にとらえることができます(図3)。また神経線維の変化は視野の変化に先行するとされ、病気の進行を早くとらえることができます。

糖尿病網膜症では網膜の出血だけでなく、視力を低下させる網膜の浮腫が問題となります。今までは網膜の直接観察や造影による撮影が主でした。OCTでは断面での撮影で浮腫の程度を知ることができ(図4)、造影検査の回数を減らすことにより体への負担も少なくなりました。網膜の断面の撮影はその他に加齢黄斑変性や網膜静脈閉塞症、黄斑円孔などの状態を知るのにも大変有効です。

市民病院の眼科では、外来診察時や視野検査時にOCT検査を併せて行っており、眼科疾患の把握に大きく貢献しております。



図1 OCT撮影の様子



図2 正常網膜黄斑部の断面

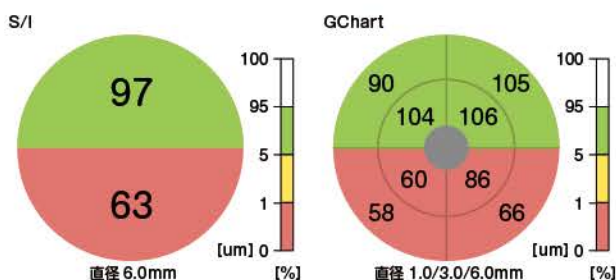


図3 黄斑部の網膜厚
下半分が減少していることを示す



図4 糖尿病網膜症の黄斑部 浮腫のため厚みが増している

病棟紹介 5階西病棟

5階西病棟 課長 足立 康宏

病棟の概要

5階西病棟は、泌尿器科・耳鼻いんこう科・整形外科・循環器内科を中心とする混合病棟です。泌尿器科は、三田市内の総合病院で唯一の診療科であるため、緊急処置を要する外傷や感染症・悪性腫瘍から小児科疾患まで幅広く対応しています。また平成29年2月には、阪神北地域では初、兵庫県下では2番目に手術支援ロボット「ダヴィンチXi」を稼働し、前立腺がん全摘出手術を行っています。耳鼻いんこう科は、耳・鼻・咽喉頭(鼻から食道につながる管状の器官)・喉頭(のどぼとけのあたりを通る気道)・唾液腺・甲状腺など多岐に亘る領域の手術を行っています。また形成外科と協働し、嚥下(食物を飲み下す)機能や構音(声帯・舌・唇により声を出すこと)機能を再建する手術や嚥下機能訓練、容姿面も考慮したさまざまな傷の治療を行っています。整形外科・循環器内科においては他病棟、多職種と連携し専門性の高い治療に加え、生活習慣の改善やリハビリテーションにも力を入れています。

施設とスタッフ

病棟には、手術後の重症管理などが行えるようHCU(高度治療室)を4床設置しています。病棟スタッフは、看護師32名(パート職員含む)、ケアアシスタント4名、ケアサポーター1名で、患者さんやご家族から信頼される看護提供を目指し日々努力しています。

病棟の特徴と方針

5階西病棟は、腎・尿路系、耳鼻いんこう系、運動機能系に疾患を持つ患者さんが多く入院します。患者さんやご家族に対して寄り添い、安心・安楽な看護を提供し、1日でも早く社会復帰されることを目標に、「信頼・団結・創造そして変革」をスローガンに、専門的知識の習得やスキル向上に日々精進しています。また専門職業人として人の痛みや思いが分かる感性を向上させるべくチームとして協働・努力しています。



スタッフステーションの様子



泌尿器科医師とのカンファレンス



スタッフ集合写真

Report 1

世界糖尿病デーイベントを開催しました

糖尿病患者は世界中で増加しており、日本では糖尿病有病者とその「予備軍」は、人口の15%を超える約2,000万人と推測されています。国連は11月14日を世界糖尿病デーと指定し、糖尿病の予防、治療の啓発活動を推進することを呼びかけています。

当院では、11月8日に「糖尿病を知ろう」と題して、以下の内容でイベントを開催し、糖尿病の予防、治療について啓発を行いました。当日は30人を超える患者さんとご家族が参加しました。アンケートでは、「献立例が知りたい」、「さらに詳しく聞きたい」、「このようなイベントを継続して欲しい」など参加者の関心が高いことを示す声が聞かれました。

当院では、今後も糖尿病の予防、治療への理解が深まる取り組みを実施したいと考えています。



講話の様子



血糖値測定

世界糖尿病デーイベント内容

時間	12:00～13:10	13:10～14:00
内容	糖尿病に関する講話 (糖尿病専門医、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、看護師、管理栄養士)	講師に対する個別質問と相談 血糖値測定、フットケアの実施 糖尿病治療に関するパンフレット配布



〈栄養科〉下羅 久美

栄養科では、病状に合わせて少しでも食事を楽しんでいただけるように献立を考えています。今回は、糖尿病食の一日のメニュー例(3食で1,600kcal)を紹介します。下記の注意点とともに参考にしてください。

糖尿病の
食事療法の注意点

1. 毎食、同じカロリーを摂ることを心がけましょう
2. 野菜は毎食食べましょう
3. 砂糖・みりん・はちみつの利用を控えましょう

一日のメニュー例(1,600kcal)

		
朝食 500kcal	昼食 500kcal	夕食 600kcal
食パン 90g マービージャム 1ヶ 牛乳 200ml バナナ 1本 煮物 木綿豆腐・白菜・人参・三度豆 醤油・砂糖・出し汁	ごはん 160g 焼き魚 むつ 1切れ 塩・大根おろし・減塩醤油 なます 大根・人参・胡瓜・卵・干椎茸 砂糖・酢・醤油 煮物 小松菜・人参・里芋 醤油・みりん・砂糖・出し汁	ごはん 160g オムレツ 卵・人参・ピーマン・玉葱 マッシュルーム・鶏ミンチ 牛乳・油・ケチャップ・ソース ソテー キヌサヤ・塩・マーガリン サラダ スパゲティ・人参・胡瓜 スープ 玉葱・ささみ・人参・コンソメ・塩・水

医師からのメッセージ

日々の診療に励む医師から、「すこやか」読者の皆さんへのメッセージをお届けします。



きたうら あつし

北浦 睦

- 診療科 腎臓内科
- 専門分野 腎臓内科疾患一般
- 資格 難病指定医

message

腎臓内科疾患の診療に主に携わっています。近年では慢性腎臓病（CKD）と呼ばれる病気が多く、透析のリスクだけではなく、心血管事故の危険も非常に高い疾患です。CKDを含めた各種腎臓病に対し、地域の医療機関とも連携して早期発見、治療などに努めていきます。よろしくお願ひ致します。



くぼた ゆういち

窪田 雄一

- 診療科 耳鼻いんこう科
- 専門分野 頭頸部腫瘍、鼻・副鼻腔疾患
- 資格 日本耳鼻咽喉科学会専門医

message

当院の耳鼻いんこう科では、みみ、はな、のど（甲状腺や頭頸部腫瘍含めて）、嚙下の診療を中心に行っています。また患者さんが手術や入院治療を安心して受けて頂けるように、地域の先生方と連携して効果的な医療を提供しています。お困りの際は是非受診してください。

Report2

いいお産の日イベントを行いました

11月3日を「いいお産の日」として（1103の語呂合わせ）、妊娠・出産・育児について学ぶ催しが各地で実施されています。市民病院でも、安心してお産の日を迎えてもらいたい、当院で出産することを楽しみにして欲しい、という思いからこの日にイベントを開催しました。

当日は、お産の経過や当院での出産の様子などのお話をはじめ、マタニティヨガ、妊婦ジャケットや沐浴の体験などを実施しました。参加者の皆さんの意欲的な態度や楽しそうな表情、アンケートで寄せられた「夫婦で参加できて良かった」、「ヨガはリラックスできて楽しかった」、「沐浴が楽しみになった」などの感想から、出産に向けた準備のお手伝いできたと感じています。また、ゆっくりと妊婦さんやその家族の方とお話することができた時間は、助産師にとっても有意義なものでした。今後も、より安心・安全な出産施設を目指して、さまざまな企画に取り組んでいきます。



マタニティヨガ(立位での合掌のポーズ)



沐浴の練習

近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう!



松浦内科循環器科医院 松浦 弘之 院長

当医院は、平成6年6月に開院し、本年で24周年を迎えます。内科、循環器内科を中心に、生活習慣病である高血圧、脂質異常症、糖尿病などの診療を行っています。皆さんに健康になっていただくため、医学的な根拠に基づいた指導をさせていただきます。また、種々の症状に対して適切な診断と治療を行い、高度な医療機関での検査・治療が必要な場合には、近隣病院との病診連携（病院と診療所との連携）をとりながら、健康で快適な生活に戻っていただけるよう支援いたします。

患者様が何でも気軽に相談でき、安心して治療を受けられるような医院を目指し、スタッフ一同、日々努力を重ねていく所存でございます。

(院長:松浦弘之、副院長:堂本康治)

〒669-1322

三田市すずかけ台2-3-1

えるむプラザ3F

電話 079-565-3322

診察科目 内科、循環器科、老年病科、呼吸器内科

休診 日 木曜・日曜・祝日、土曜日の午後



診療時間

午前 9:00~12:00 午後 4:00~7:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×

はやしべ皮フ科 林部 一人 院長

乳児期から老年期に至るまで、皮膚は常にその時々自分を映し出す鏡のような機能を有しています。各世代ごとの皮膚の変化を自分を見つめ直すように観察いただき、疑問があればご相談ください。小さな疑問の解決が大きな安らぎを得ることにつながることも稀ではありません。

レーザー機器、外用剤、補助的治療剤（化粧品など）の進歩は目覚ましく、よりダメージを少なく治療することが可能になってきました。ベストの治療方針を選択し、三田市民病院、神戸大学病院などと密に連携し、より満足度の高い治療を目指します。(院長:林部一人、女性医師:石田としこ、米谷さおり)

〒669-1322

三田市すずかけ台2-3-1 えるむプラザ3F

電話 079-565-8808

診察科目 皮膚科・アレルギー科、形成外科

休診 日 木曜・日曜・祝日

HP <http://www.ikkeikai.org>

(「三田市 はやしべ皮フ科」で検索してください)



診療時間

午前 9:00~12:30 午後 3:30~6:30

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	2:00~ 4:00

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年には冬季オリンピックやサッカーワールドカップなどスポーツ好きにはワクワクした1年となっています。元気に観戦できるよう、皆さんの1年が豊かで健やかでありますように。今年もよろしく願いいたします。

すこやか(第201号)
平成30年1月発行

【編集・発行】
三田市民病院
学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
TEL.079-565-8000 (代表)
<http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>